

法人版

安田学園とのコラボレーションについて

2025年4月

自ら考え学び、創造的学力・人間力を身につけ、グローバル社会に貢献する



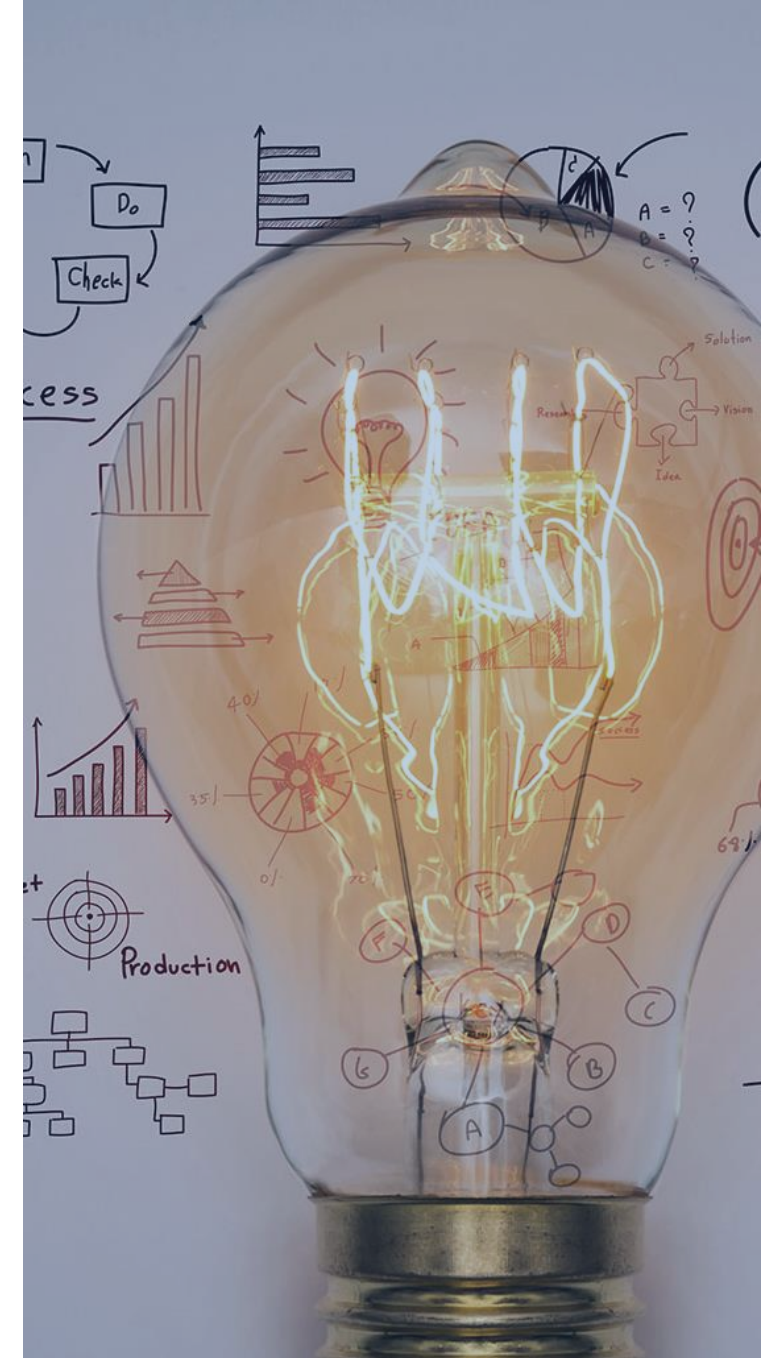
安田学園中学校高等学校



次の100年に向けて安田学園として取り組みたいこと

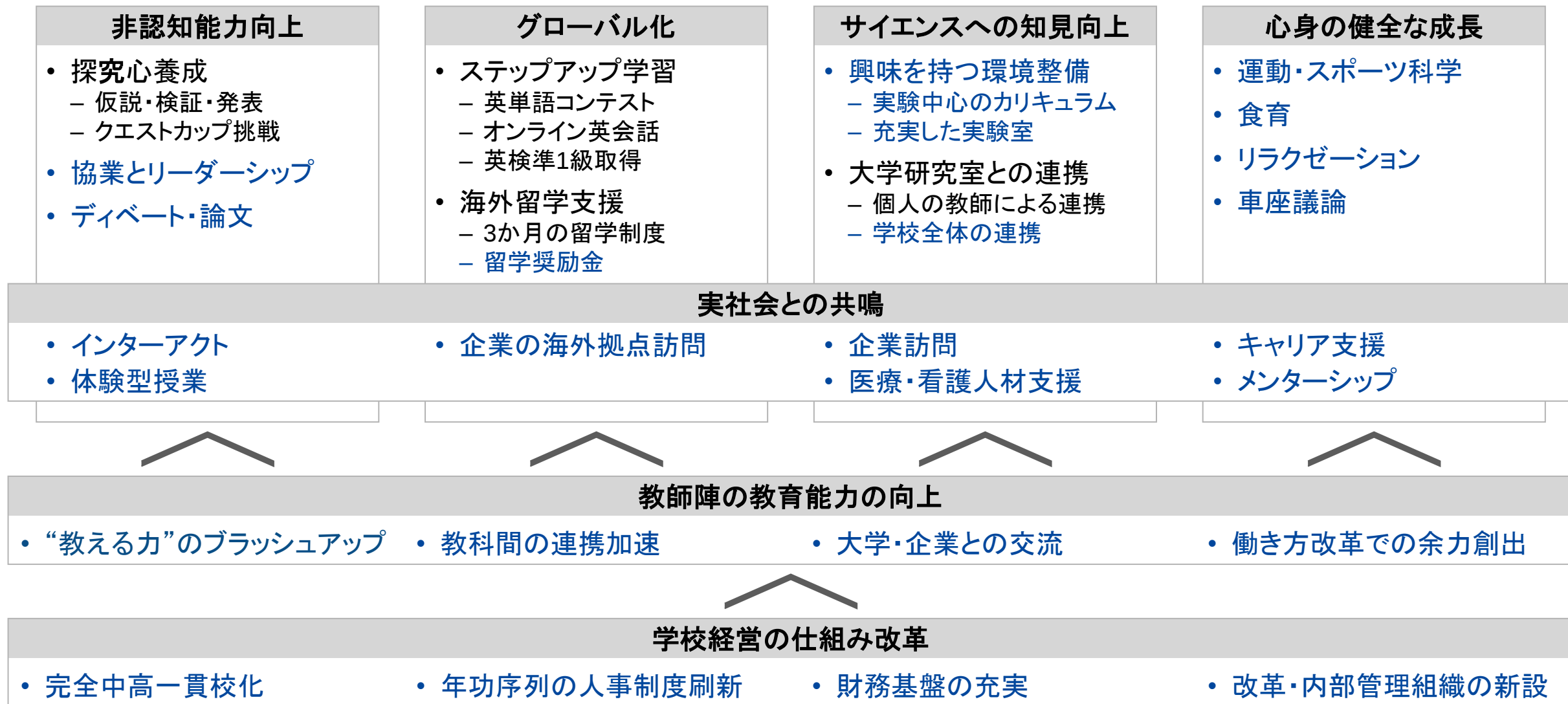
少子化の中で、選ばれ・勝ち抜く学校へ

- AI時代の到来を踏まえ、生徒の実業界での「価値」をさらに大きく伸長
 - － 非認知能力向上
 - － グローバル化
 - － サイエンスへの知見向上
 - － 心身の健全な成長
- 企業とのコラボレーションの下で、生徒が実社会と共鳴する機会の拡大
- 企業や大学との交流を通じて教師を育て、教育へのモチベーションも向上
- 生徒・先生を支える学校経営の仕組みを抜本的にアップデート



安田学園のこれまでの取り組みと将来像

黒字:これまでの取り組み 青字:今後の取り組み



貴社とコラボレーションを進めたいテーマ:

次世代の実用人材育成のため、人材・技術・資金の面での支援拡大をお願いしたい

短期

教育環境の整備

- デジタルツール・設備の導入、教える力(授業力・人間力育成)ブラッシュアップ機会の提供
- 資金の調達に、受配者指定寄付金制度を活用

人材支援・交流

- 事業・ビジネスの実務内容に近い学習プログラムを提供
- 社会人の先輩として教師とは異なる目線で生徒のメンターとなる
- 企業の社員と教師が交流し、教師のスキルを向上

長期

ビジネスの実証実験

- 学校の場合、先進事業やテクノロジーをパイロットとして展開
- 生徒に最先端の技術とビジネスが融合する体験を提供



優秀な人材の
社会／貴社への輩出



産学連携による
イノベーション

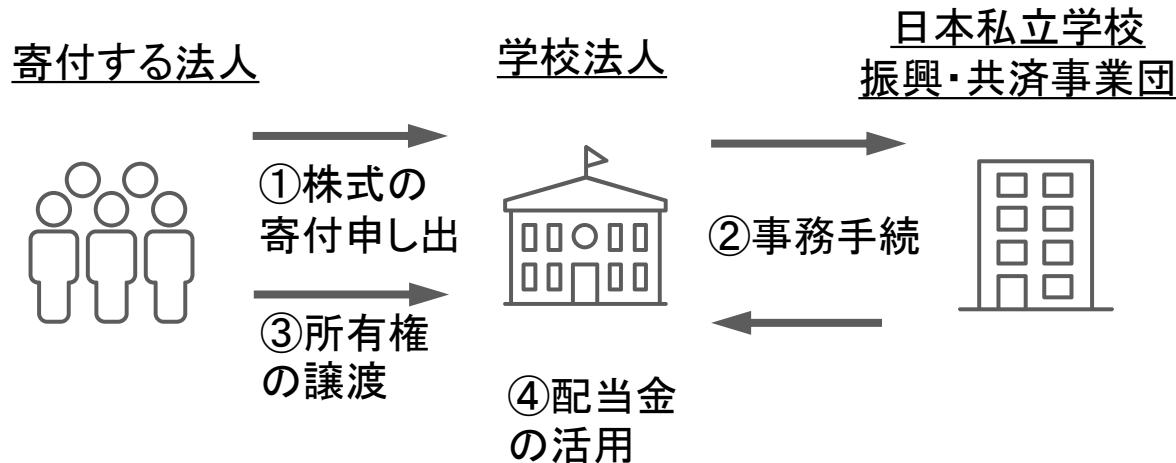


CSR活動として社内外での
企業イメージ向上

株式を用いた受配者指定寄付金のご紹介

株式を用いた受配者指定寄付金とは

- 公的な仕組みを利用: 日本私立学校振興・共済事業団が取り扱う「受配者指定寄付金」を利用
- 株式の現物寄付: 自社株式・保有株式を学校に現物寄付をし、毎期の配当金を学校の教育事業に活用



寄付者にとってのメリット

- **寄付金の全額損金算入**: 企業は寄付金に対して法人税や所得税の軽減措置あり
- **安定株主の確保**: 寄付した株式は、学校法人が当該株式の議決権を行使、もしくは信託スキームに組み入れ
- **CSR活動として社内外へ発信**: 次世代の人材育成に直接的に寄与することで、企業イメージを向上